

新風

SHINPU
Vol.31

がんばれ菊池！市民と共に郷土づくり

前川おさむ県政だより

平成23年2月



事務所 / 〒861-1307 菊池市片角325-1
TEL0968-24-2171 FAX0968-24-2855

さて県政におきましては、3月12日の九州新幹線全線開通、来年の熊本市の政令市化と大きな節目を迎えようとしております。蒲島知事は、この期を百年に一度のビッグチャンスと捉え、「熊本の夢実現」の為に懸命に努力されて

かうのか？海図のない航海が続いています。今更ながら、政治がきちんと目指すべき将来像を示していく事の重要性を感じている次第です。

前向きです。

また、菊池市における取り組みを「がんばれ菊池」プロジェクト

その知事と、2月議会の代表質問で直接議論する事になりました。「地域主権」「道州制」「政令市と県政の課題」「一括交付金の矛盾」等々、自民党を代表しての質問ですから、あまり菊池市独自の課題は質問できませんが、与えられた100分間を有効活用したいと思えます。

と紹介させていただきます。

まだまだ課題が山積であります。菊池市民の代弁者として、「初心忘るべからず」皆様の暮らしの安定向上、活力ある産業の創造、菊池らしい歴史や文化の顕彰を目指し頑張っております。

例年になく寒いお正月でありましたが、皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。わたしも自民党県連幹事長に就任し4年目を迎え、日々慌ただしくも充実した日々を過ごしております。政権交代から1年5ヶ月、我々が乗る「日本丸」はどこへ向かうのか？海図のない航海が続いています。今更ながら、政治がきちんと目指すべき将来像を示していく事の重要性を感じている次第です。

ご挨拶

います。知事就任の挨拶で「国に頼らない、他県と比べない県政」を提唱し、政権交代でますます厳しくなった予算環境の中でも常に明るく

総決起大会

前川おさむ県政報告会

紙面だけでは語りきれないことだらけ。皆様の参加をお待ちしております。

2/27

開演 / 19:00(開場 / 18:00)
菊池市文化会館 大ホール

実行！実現！
経験を、未来へ。



**平成23年2月議会
代表質問傍聴のご案内**
平成23年度予算を審議する、今期最後の議会で前川県議が代表質問を行います。県政の課題や熊本の夢についての蒲島知事や執行部への質疑を傍聴してみませんか？当日、バスで傍聴ツアーを行います。
日時 / 平成23年3月2日(水)
午前10時から100分間
傍聴を希望される方は、前川後援会事務所
☎24-2171 までご連絡ください。



議会活動の活性化 前川県議は行動します!!

二元代表制の地方行政の一翼を担う議会として、執行部が提案する予算をはじめとした様々な議案を審議するだけでなく、真に必要な政策実現の為、議会自ら政策提案を行い議員提案条例の制定や予算の修正に取り組んでまいりました。

議会が執行部の追認機関ではなく、知事と共に責任を共有し県民の意見を代弁する機関として、今後も前川県議は行動します。



夢トークin菊池・足湯

平成22年12月1日、県内の様々な皆様と直接対話をする「夢トーク」のため、蒲島知事が菊池にお見えになりました。この写真は会場であった、夢美術館にある「足湯」での一シーン。たまたま、居合わせた人たちと蒲島知事アンド前川県議の「足湯ミニトーク」。本音の生の裸足の声の色々聞けたみたいでした。



前川県議がこれまで取り組んできた議員提案条例

熊本県行政に係る基本的な計画の策定等を議会の議決事件として定める条例

平成16年3月3日議決
副議長であった前川県議が私案を提示。予算や政策の根拠となる中期の計画が、これまで議決事項でなかったことを是正した条例。

熊本県中小企業振興基本条例

平成19年3月15日議決
前川県議が提案理由の説明。県議会初の議員提案の政策条例。地場産業育成の為の県の責務を条例化。マニフェスト大賞にノミネートされた。

熊本県五木村振興推進条例

平成20年12月18日議決
川辺川ダム問題に翻弄される五木村の振興の為の条例。県が一地域を指定して振興を促すことを条例化することは、非常にめずらしい。

くまもと地産地消推進県民条例

平成21年3月3日議決
中小企業振興条例の農林水産版。県内産品の地産地消を行政だけでなく、県民と共に推進することを促す条例。



熊本県歯及び口腔の健康づくり推進条例

平成22年10月8日議決
子供の虫歯罹患率全国ワースト2位という状況を改善する為に、県の歯科医師連盟との協議の中から発議された条例。

動き出す「がんばれ菊池」プロジェクト (前川県議が取り組む様々な政策の一例)

菊池テクノパーク

(菊池市旭志川辺地区)
総面積23ヘクタール、総事業費27億円のこの事業は蒲島県政の「稼げる熊本づくり」の目玉事業で県内唯一の県が造成する工業団地。
平成24年度中完成を目指し現在進行中。

国道325号4車線化事業

現在、森北上古閑地区までであった4車線化事業。民主党の「コンクリートから人へ」政策で新規事業を認めないという厳しい環境の中で、県内新規国道事業として認められた2事業のひとつ。大琳寺交差点までの3.6km区間で、現在実施測量設計進行中。

菊池の生活・産業基盤づくり

中九州横断道路(熊本市〜大分市)の採択推進。市内の県道狹狹部の解消。(七城町間所地区・松島地区・木庭地区・立門地区等々)
農業基盤整備(花房中央2期地区・菊池東部地区・泗水佐野地区等々)土地改良単県事業(平成22年度)100%採択。



米政策と水田フル活用

菊池の特産品である米と畜産の有効活用を県に提案。
減反で苦しむ農家が、水田をフル活用し、飼料用米や米粉用米を生産、畜産農家は飼料として活用する



モデル地区として指定。日本一といえる米政策の中心地区として全国から注目を集める。「えこめ牛」も好評!

自民党政権時の補正予算を活用し、畜産流通センターとライスセンター1改修の9割補助を実現。集落営農推進のためトラクター・コンバインの導入助成推進。

高齢者福祉と医療政策

高齢者福祉対策で60床の介護付き有料老人ホーム(民間)の設置。菊池都市医師会立病院の移設新築に対する補助金確保。

子育て・教育対策

第三子以降の保育料無料化の実現。各種地域活性化交付金の予算を獲得し、小・中学校の耐震化事業、営繕事業、備品購入、中学校の空調設備事業の実現。

菊池の歴史顕彰プロジェクト

宝くじ宣伝広報事業(民主党の事業仕分けで廃止決定)を活用し、菊池出身の幕末の志士「高木元右衛門」像を隈府一番地に建立。今後、市との連携により、あらゆる機会を捉え、菊池の様々な歴史や文化の顕彰に取り組む。

